

バスケットボール戦評記入用紙

大会 (新人 関東 インターハイ)
 試合 (決勝・準決勝・準々決勝・決勝リーグ)
 日時 5月19日 金曜日 第 4 試合 時刻 14:30
 記入者名 祐木 毅

| A チーム | 得点 | | 得点 | B チーム |
|----------------|-----------|---|-----------|---------------|
| <u>花咲徳栄 高校</u> | <u>71</u> | (| <u>94</u> | <u>埼玉栄 高校</u> |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

戦評

第1P、両チームともマンツーマンディフェンスでスタートする。埼玉栄は#12のオフェンスリバウンドからのシュートで先手を取る。一方徳栄は埼玉栄の得点後に見せるゾーンプレスに苦しみ得点できない。埼玉栄は素早い展開から#12のインサイド、#4、#6のジャンプシュートでリードを広げていく。徳栄は#13のジャンプシュート、#7のリバウンドシュートで繋ぐがシュート確率が上がらない。埼玉栄は#6、#4のジャンプシュートで点差を広げる。

第2P、徳栄#13の連続3Pシュートでリズムをつかむものの、その後のシュートが決まらず、得点が伸びない。埼玉栄はエースの#10のシュート確率が上がらないものの、オフェンスリバウンドからのシュートで得点を伸ばしていく。さらに#5の確実なジャンプシュートで主導権を渡さない。徳栄は焦りが目立ち、ミスが目立ってくる。#9のドライブインシュートで得点するも、流れを変えられない。33-48、埼玉栄リードで前半を折り返す。

第3P、徳栄はオールコートのゾーンプレスから3-2のゾーンディフェンスに変えて巻き返しをはかる。埼玉栄のシュート確率が落ち、徳栄がリズムをつかむ。徳栄#13のジャンプシュート、#12の3Pシュートが決まり10点差に詰め寄る。更に埼玉栄は#10をファールトラブルでベンチに下げ嫌なムードが漂う。しかしディフェンスから速攻に展じ、#4、#5がレイアップシュートを決めて流れを渡さない。後半にさしかかると埼玉栄はオフェンスリバウンドで圧倒し#12がゴールに押し込み、点差を広げていく。

第4P、埼玉栄の運動量が際立ってくる。速攻から#11、#16がレイアップシュートを決め、試合を決めにかかる。徳栄も#13が3Pシュートを決めて粘りを見せる。しかし点差を縮めることはできない。豊富な運動量でコートを支配した埼玉栄が勝利し、関東大会の出場権を手に入れた。